

水道局 平成26年度 局運営方針（案）

1. 主な現状と課題

水道事業では、昭和40年代から50年代にかけて建設した多くの施設の老朽化が進み、この老朽施設の大規模更新や耐震化対策等の強化が不可欠となっています。また、多様化する市民ニーズを反映したサービスの向上も必要となっています。

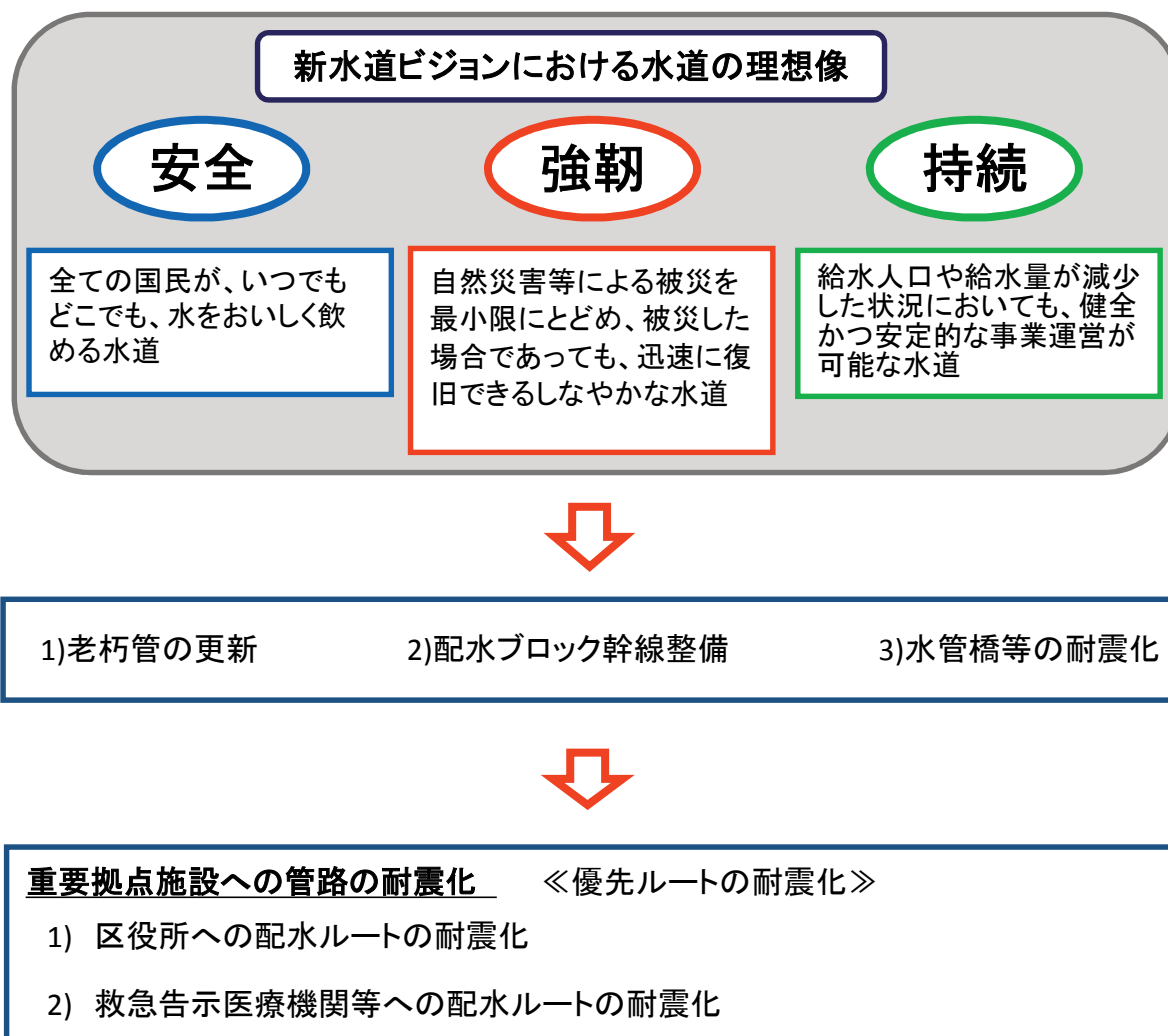
一方、これら事業の財源となる水道料金収入は近年減少傾向にあり、財源の確保が課題となっています。

このような状況から、現行水道料金を維持しつつ、より一層の経営基盤の強化を図るため、平成22年度に策定した「さいたま市水道事業中期経営計画（平成23年度～27年度）」に基づき、効率的な事業運営に努めています。

(1) 水道施設の改良・更新

時代や環境の大きな変化に対応するため、厚生労働省では平成25年3月に「新水道ビジョン」を策定し、「安全な水道」、「強靱な水道」、「水道サービスの持続」を理想像として水道事業の目指すべき方向性を示しています。

水道局では、これまでの老朽管の更新（耐震化）に併せて、「強靱」な水道を築くため、大規模災害時の医療救護の拠点となる区役所と救急告示医療機関等を重要拠点施設と位置付け、配水ルートの耐震化を優先的に進めていきます。



2. 基本方針・区分別主要事業

安心安全な水道水を安定して供給するため、既存施設の計画的、効率的な改良更新を行うとともに、湧水や地震等災害時においても、信頼性の高い水道を目指します。
また、水道に対する多様化するニーズを反映した、質の高いサービスを提供します。

(1) 水道施設の改良・更新とともに、耐震化を進めます。

(単位:千円)

No	区分	事業名	26年度	25年度	説明
1		水道施設整備事業 〔水道計画課〕	8,573,323	8,693,374	水の安定的な供給を図るための施設整備の推進

会計名 水道事業会計		予算額	46,963,085										
局/部/課	水道局/業務部/水道財務課	〔財源内訳〕											
予算書	水道事業会計予算書	1款 水道事業収益											
<事業の目的・内容> 市民生活を支えるため、安全で良質な水道水を安定して供給するとともに、渇水や地震等の災害にも強いたくましい水道をつくっていきます。 また、健全経営の下、効率的な施設運営や使用者の視点に立った質の高いサービスの提供を行います。		1 営業収益	31,644,845										
		2 営業外収益	1,263,075										
		3 特別利益	1,521,264										
<特記事項> 地方公営企業会計制度の見直しに伴い、新会計基準に基づく収入、支出等の整理を行います。		1款 資本的収入											
		1 企業債	2,242,000										
		2 負担金及び寄附金	1,618,760										
<主な事業>		3 補助金	11,808										
		前年度予算額	44,488,891										
		増減	2,474,194										
<主な事業>													
【収入】		【支出】											
[1款：水道事業収益]		[1款：水道事業費用]											
34,429,184		29,966,011											
(1) 給水収益 28,616,963		(1) 水源費 8,487,328											
水道料金収入です。		埼玉県からの受水や自己水源である地下水の取水に係る費用です。											
[参考]水道料金の推移 (税抜き)		(2) 配水費 2,995,848											
<table border="1"> <tbody> <tr> <td>平成26年度予算額</td> <td>26,617,039,000円</td> </tr> <tr> <td>平成25年度予算額</td> <td>26,903,104,000円</td> </tr> <tr> <td>平成24年度決算額</td> <td>27,028,111,470円</td> </tr> <tr> <td>平成23年度決算額</td> <td>27,031,220,986円</td> </tr> <tr> <td>平成22年度決算額</td> <td>27,832,933,546円</td> </tr> </tbody> </table>		平成26年度予算額	26,617,039,000円	平成25年度予算額	26,903,104,000円	平成24年度決算額	27,028,111,470円	平成23年度決算額	27,031,220,986円	平成22年度決算額	27,832,933,546円	浄・配水場からの送水に係る費用です。	
平成26年度予算額	26,617,039,000円												
平成25年度予算額	26,903,104,000円												
平成24年度決算額	27,028,111,470円												
平成23年度決算額	27,031,220,986円												
平成22年度決算額	27,832,933,546円												
(2) その他営業収益 2,931,447		(3) 配給水費 9,901,794											
・配給水管維持管理等負担金 985,555		漏水調査・修繕など、配給水管の維持管理に係る費用です。											
・下水道使用料徴収事務負担金 842,576		・漏水調査事業 128,395											
・分担金 1,032,918		・修繕費 1,528,054											
(3) 長期前受金戻入 1,191,671		(4) 業務費 2,690,519											
新会計基準移行に伴い、水道施設の建設改良のため交付を受けた国庫補助金等について、その施設の減価償却に応じて収益に計上します。		水道メーターの検針や水道料金の収納、電話受付センターの運営などに要する費用です。											
(4) 特別利益（その他特別利益） 1,520,000		・電話受付センター業務 167,713											
新会計基準移行に伴い、修繕引当金を廃止し、残額を特別利益に計上します。		(5) 支払利息及び企業債取扱諸費 1,541,668											
		企業債利息です。											
		(6) 特別損失（その他特別損失） 2,452,314											
		新会計基準移行に伴い、退職給付引当金等を計上します。											

(単位：千円)

[1款：資本的収入]	3,872,568	[1款：資本的支出]	16,997,074
(1) 企業債 水道施設の整備事業に係る企業債です。	2,242,000	(1) 施設整備費 安定的な給水の確保を図るため、老朽化した水道管や水道の基幹施設である浄・配水場の更新、改良及び耐震化を計画的に行います。	10,830,455
(2) 負担金及び寄附金 開発事業者等の依頼に基づく水道管の布設に係る負担金等です。	1,618,760	・ 地下水源整備事業 深井戸の改良、更新を行い、地下水源の保全と有効活用を図ります。	156,391
		・ 拠点施設整備事業 ポンプや電機設備等、配水施設の計画的な改良、更新を推進します。	1,169,719
		・ 配水ブロック整備事業 効率的な配水制御とともに、水質管理やバックアップ機能の強化を図るため、配水ブロック化を推進します。	1,277,388
		・ 配水支管整備事業 道路内における輻そう給水管の解消等、安定給水のための配水支管整備を推進します。	1,186,504
		・ 老朽管更新事業 老朽管の計画的な更新により、漏水や事故防止に努めるとともに耐震化を図り、安定した給水を行います。	4,405,365
		・ 施設耐震化事業 水道の基幹施設である浄・配水場、水道管等の耐震化を進めます。	377,956
		(2) 設備改良費 計量法により定期的に交換の必要な水道メーターの購入等に要する経費です。	1,453,477
		(3) 償還金 企業債の元金償還に係る経費です。	4,703,142